



DAREジャパン株式会社

会社説明

DARE JAPANは、中国有数の技術系企業グループ「DAREグループ」の、中核企業「DARE AUTO」の日本の研究開発拠点として2018年5月に設立されました。DARE AUTOでは中国・欧州・北米に15の研究開発センターがあり、それぞれが自動車に関わる様々な分野の技術を保有し、400名以上のシニアエンジニア及び専門家が研究開発に取り組んでいます。DAREジャパンは、全固体電池を中心に、燃料電池の開発を進めています。

【研究開発活動紹介】

DAREジャパンは、日本の優れた技術を活かした製品を、DAREグループの活動する中国、欧州、北米での市場展開につなげることを目的に、2018年5月に東京に設立されました。

自社研究開発センターによる開発実務と、日本企業や大学との連携プロジェクトのマネジメントを行っております。

主な開発テーマ：

・ 全固体電池開発

日本の優れた素材企業や装置企業と連携し、全固体電池の開発を行っております。

本開発は日本の研究開発センターを中心に、米国の研究開発センターでの電池シミュレーション、中国の光通信デバイスの子会社での成膜、中国での電池材料調達などDAREグループ全体での取組みとなっています。

・ 燃料電池セル・スタック開発

米国の燃料電池の子会社と連携し、日本の優れた素材企業や装置企業と連携した燃料電池スタックの開発を進めています。

■DAREグループ研究開発分野

日本（新エネルギー）、北米（ECUソフト、熱成形・真空成型・アルミ成形）、ドイツ（騒音・振動・ハーシュネス）、オーストリア（音響・熱・絶縁）、遼寧（ステアリング、トランスミッション）、深圳（自動運転・電子部品）、上海（材料開発・音響最適化、モータ）、長春（ステアリング）、阜新北星（ギアポンプ・モータ）

■DAREグループ顧客

欧州（DAIMLER、BMW、Ford、RENAULT NISSAN、GM、FCA、Audi、PORSCHE）中国（SAIC MOTOR、SANY、DFM、GEELY、IVECO、DCEC他多数）

会社概要

本社所在地

中国

事業内容

新エネルギーの開発・製造・販売

代表取締役

李 毅

設立年

2018年5月

資本金

1億1800万円

URL

<http://dare-jp.com/dareauto/>

オフィス情報

メインオフィス

〒2100855

神奈川県 川崎市川崎区 南渡田町1-1

京浜ビル2階